

コヨシキリ

Acrocephalus bistrigiceps bistrigiceps
Swinhoe

スズメ目
PASSERIFORMES
ウグイス科
Sylviidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 全国的にも繁殖地は局限されている。

県内分布 日出生台で繁殖。

分布域 本州中部以北の高原、北海道の草原に夏鳥。
中国中部以北で夏鳥。中国南部、東南アジアで越冬。

生息環境 草丈の高い草原。アシ原、河川敷、湖沼周辺の草原に夏鳥として生息し、草むらの地上近くに営巣する。茂みの中で昆虫類や種子を食べる。

現 状 繁殖に使う環境がかなり特殊で、県内では日出生台だけに生息している。

メボソムシクイ

Phylloscopus borealis xanthodryas
(Swinhoe)

スズメ目
PASSERIFORMES
ウグイス科
Sylviidae

カテゴリー

大分県
環境庁 掲載なし

選定理由 繁殖南限であり。生息地は標高の高い場所に限定され、生息数もかなり少ない。

県内分布 釈迦岳、黒岳、祖母・傾山の山頂部に生息する夏鳥。

分布域 北海道、本州、四国、九州(大分)の高山に夏鳥。
シベリア、カムチャツカ、サハリンで繁殖。東南アジアで越冬。

生息環境 亜高山帯の針葉樹林・広葉樹林に夏鳥として生息し、木の根元や崖のくぼ地に営巣する。枝上でチョウ・ガ類の幼虫などの昆虫類を捕食する。

現 状 亜種メボソムシクイ (*P. b. xanthodryas*) は、年に数回程度の観察記録しかない。

備 考 亜種コメボソムシクイ (*P. b. borealis*) は旅鳥として全国を通過する。県内でも平地での観察例がかなりある。

キビタキ

Ficedula narcissina narcissina
(Temminck)

スズメ目
PASSERIFORMES
ヒタキ科
Muscicapidae

カテゴリー

大分県 準
環境庁 掲載なし

選定理由 森林開発と樹種変換のため、生息地である広葉樹林が減少しており、生息数も減少している。

県内分布 低山から高山の落葉広葉樹林帯に生息する夏鳥。

分布域 北海道、本州、四国、九州に分布する夏鳥。屋久島以南では別亜種リュウキュウキビタキ (*F.n. owstoni*) が常緑広葉樹林に生息する。
中国の一部と日本で繁殖。中国南部、フィリピンで越冬。

生息環境 低山帯の落葉広葉樹のある森林に夏鳥として生息する。枝から昆虫に飛びつき捕らえる。

現 状 かつては、ふつうの夏鳥であったが、近年、生息数が減少し、声が聞こえる場所が少なくなってきた。